



ペットのお留守番も安心  
**Auto Feeder**  
ペット用オートフィーダー  
カメラ付き NEW



取扱説明書

ペットのお留守番も安心  
**Auto Feeder**  
ペット用オートフィーダー  
カメラ付き NEW  
自動給餌器

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

このたびは当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本品は、家庭用・屋内用のペット専用製品です。他の目的、および屋外ではご使用にならないでください。お客様に製品を正しくお使いいただくために、「使用方法」や「注意事項」を記載しております。ご使用前に本書内容をお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。「安全上のご注意」(P1)をお読みいただき、正しくお使いください。ペットのアクションによる事故や商品破損は、如何なる補償にも応じることができませんので予めご了承ください。

- 1.安全上のご注意 ..... 01
- 2.各部名称 ..... 02
- 3.製品仕様 ..... 02
- 4.ご使用の前に 設置場所について/本体のセッティング ..... 03
  - 除湿剤の取り付け ..... 03
  - アプリのダウンロード ..... 04
  - アプリのアカウント新規登録 ..... 04
  - 接続の仕組み ..... 04
- 5.操作方法 操作パネル各部名称 ..... 05
  - 本体インジケータランプ仕様 ..... 05
  - 操作ボタンのロック&解除 ..... 05
  - アプリ及び給餌設定
    - (1)電源オン ..... 05
    - (2)端末(スマートフォン)と本体の接続方法 ..... 05・06
    - (3)自動給餌設定 ..... 06
    - (4)自動給餌と同時に録音音声を再生する設定 ..... 07
    - (5)手動給餌の方法 ..... 07
    - (6)アプリの機能説明 ..... 08・09
- 6.フードのセット ..... 10
- 7.お手入れ方法 ..... 10・11
- 8.困ったときは ..... 12・13
- 9.保証書 ..... 14



いきものとフード・用品のトータルメーカー  
販売者 **株式会社マルカン**  
マルカン事業部  
〒532-0011大阪府淀川区西中島7-1-26  
<https://www.mkgr.jp>

原産国：中国  
Made in China  
この商品は株式会社マルカンの企画・開発・管理  
基準により協力工場で製造されたものです。

マルカン製品のお問い合わせ先

チャットで  
お問い合わせ

【お客様相談室】  
☎072-931-0345  
受付時間(土日祝日を除く)  
9:00~12:00 / 13:00~16:00

※無線LAN(Wi-Fi環境)に関するお問い合わせはお受けできません。  
【お願い】  
◆マルカンでは、お客様やペットにより安全で楽しい商品をお届けするため常に商品の見直しを行っております。そのためお買い上げの時期によって同一商品にも多少の違いが生じる場合がありますのでご了承ください。  
◆品質には万全を期しておりますが、万一不都合がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

# 1.安全上のご注意

人とペット及び財産への危害・損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

※誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、如何なる補償にも応じることができませんので予めご了承ください。

**警告** 「死亡または重症を負うことが想定される」内容です。

**注意** 「軽傷を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

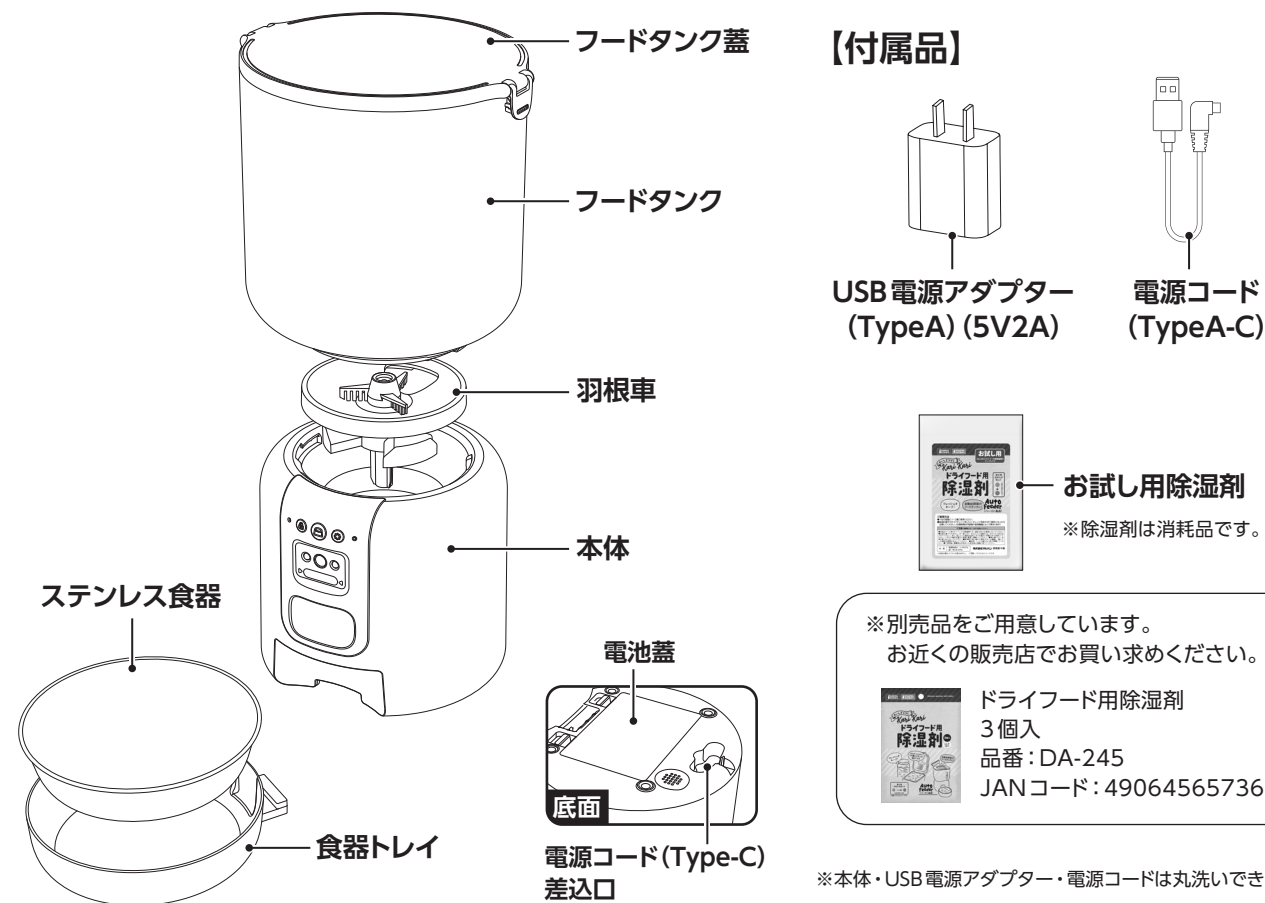
## 【警告】ケガ・発煙・発熱・発火・本体破損・故障の原因になります

- 本品は、ペット用の屋内専用給餌器です。他の目的には使用しないでください。
- 交流100V以外の電源は使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 火気や炎天下など、高温の場所に置かないでください。周囲温度が10～40℃の場所で使用してください。漏液、発熱、発火、破裂の原因になります。
- コードの破損につながる行為はしないでください。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。火災、感電の原因になります。
- 濡れた手でのご使用はしないでください。火災、感電、ケガの原因になります。
- 本体内部やプラグ接続部、電源アダプターは濡らしたり水洗いしないでください。感電、ショートの原因になります。
- 風呂場、雨に当たる場所、水気・湿気の多い所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 差し込みのゆるいコンセント、ホコリのついたアダプターは使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- お手入れの際は電源アダプターを持って、コンセントから抜いてください。電池もすべて外してから行ってください。
- 分解、修理、改造は絶対にしないでください。
- 給餌中もしくは手動給餌中には、フードが排出される出口ならびにフードタンクの中に、絶対に手を入れないでください。ケガの原因になります。
- 灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸殻のような火の気のあるもの、可燃性のものをタンクに入れないでください。

## 【注意】ケガ・本体破損・故障の原因になります

- 本体の転倒防止のため、ペットの性格によって壁際に置くことをおすすめします。
- お子様のいたずらにはご注意ください。また、おもちゃとして遊ばせないでください。
- 本品は精密機器ですので取り扱いには十分気を付けてください。
- 火気や暖房器具のそばに置かないでください。火災やペットの火傷、製品の変形の原因になります。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となる場合があります。
- 使用中、保管中ともに本体部分に水が入らないようご注意ください。
- 本品の組み立てやご使用に際しては、乱暴に扱いますと破損やケガの原因となりますので、丁寧にお取り扱い願います。
- 正常に作動しているかどうか1日1回は確認してください。
- ウェット・半生・セミモイストタイプのフードおよび、ジャーキーや缶詰はご使用できません。本体の故障やフードの腐敗、虫わきの恐れがあります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出して電源を切り電源アダプターを外してください。
- フードの詰まりや故障が発生した場合にも対応出来るよう2日以上留守にされる場合は知人やペットシッターに様子を見てもらうことをおすすめします。
- 定期的に掃除やお手入れをして清潔に保ってください。
- 本品をご使用いただくにはスマートフォンと無線LAN(Wi-Fi環境)とインターネット接続が必要です。

# 2.各部名称



※別売品をご用意しています。お近くの販売店でお買い求めください。  
 ドライフード用除湿剤 3個入  
 品番：DA-245  
 JANコード：4906456573609

※本体・USB電源アダプター・電源コードは丸洗いきれません。

# 3.製品仕様

品名	犬猫用自動給餌器 カメラ付
定格電圧	DC5V
電源方式	USB電源アダプター(Type-A)、入力100V(50/60Hz)出力5V 2A 予備電源:単一アルカリ乾電池×3本(別売)
定格消費電力	作動時約1.5W 待機時約1.1W
本体重量	1.2kg
本体サイズ	W195×D305×H342mm
タンク容量	4L(約1.7kg <sup>*1</sup> )
コード長さ	約1m(TypeA-C)
材質	本体:ABS 食器:ステンレス
対応スマートフォン	対応OS: iOS14~/Android6.0~ ※最大8台までスマートフォン接続可能。※最新の対応OSは弊社ホームページをご確認ください。
無線規格	IEEE802.11 a/b/g/n/ac(2.4GHz&5GHz)
無線LANセキュリティ	WEP(ASCII)、WPA(AES)、WPA2(AES)、WPA2(TKIP)
カメラ角度	120度(水平)
カメラ画質	100万画素
給餌設定	1日最大4回
給餌量	10g～100g/回(1日最大400gまで設定可能) <sup>*1</sup>
録音時間	約10秒
電気代	1ヶ月 約34円 (1kwh:31円の場合) ※使用環境や電力会社、契約内容によって変わります。

\*1:約1.7kg/4Lのドライフード使用時の目安  
 ※製品改良のため、デザイン・仕様等予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

## 4.ご使用の前に

### 【設置場所について】

- 平らな安定した、電源を取りやすい場所に設置してください。本体が傾く場所、ガタガタ安定しない場所、屋外や浴室など湿気の多い場所、長時間直射日光が当たる場所や暖房器具の近くでの使用は故障・事故の原因になります。  
※ 本体の倒れ防止の為、ヤンチャなペットには壁ぎわに置くことをおすすめします。
- Wi-Fi機器との距離が近すぎるとデータ通信障害が生じる場合があります。オートフィーダーをWi-Fi機器から1m以上離してください。
- 安定した通信環境を維持するため、Wi-Fi機器との距離は8m以内をおすすめします。Wi-Fi機器との間に壁などの障害物がある場合は4m以内が目安です。  
※ ご使用中に発生したデータや情報漏洩については、当社は責任を負えません。

### 【本体のセッティング】

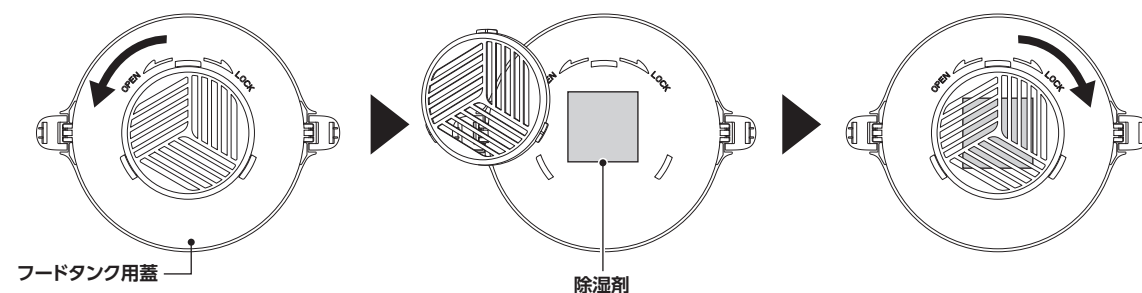
- 本体底面の電池ボックスの蓋を開け、新しい単一アルカリ乾電池(別売)3本を記載されている電池方向に従ってセットします。
- アダプターと電池の2種類から給電方法が選べます。(屋内専用)  
※ 電池から給電された場合は給餌機能のみ動き、カメラ・マイク・スピーカー機能は使えません。
- アダプターと電池を同時にセットすることで、普段はアダプターから給電し、停電時やアダプターが外れたときなど緊急時でも電池から給電できるので安心です。

### ⚠ 電池ご使用上の注意

- 古い電池と新しい電池を同時に使用しないでください。
  - アルカリ乾電池と他の電池を同時に使用しないでください。
  - マンガン電池や充電式電池は、本品の性能を十分に発揮できない場合がありますので、使用しないでください。
  - 長期間ご使用されない場合は電池を取り出してください。
  - ショートさせたり、分解、加熱したり、水や火の中に入れてください。
  - 万一、電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。
  - 電池は一度に新しい電池と交換してください。
  - 電池の+/-の向きを正しく入れてください。
- ※ 電池を誤使用すると発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。  
※ 乾電池寿命は平均的なご利用方法で、約2ヶ月が目安です。(乾電池の寿命は、電池メーカーやフードの種類、気温等により異なります。)  
※ 完全に電池の電力がなくなった場合は、新しい電池と交換してください。

### 【除湿剤の取り付け】

フードタンク蓋の裏側に除湿剤を入れることができます。  
取り付け部をOPENの方向に回して取り外し、中に除湿剤を入れてください。



### 【アプリのダウンロード】



iPhoneはApp Storeで、AndroidはGoogle Playで「Auto Feeder」と検索して「AutoFeeder 株式会社マルカン」をダウンロードしてください。  
※ 対応OSのスマートフォンをご使用ください。(iPhone: iOS14 ~ /Android6.0 ~)

### 【アプリのアカウント新規登録】



新規登録をタップすると、新規アカウント作成画面へ移動します。

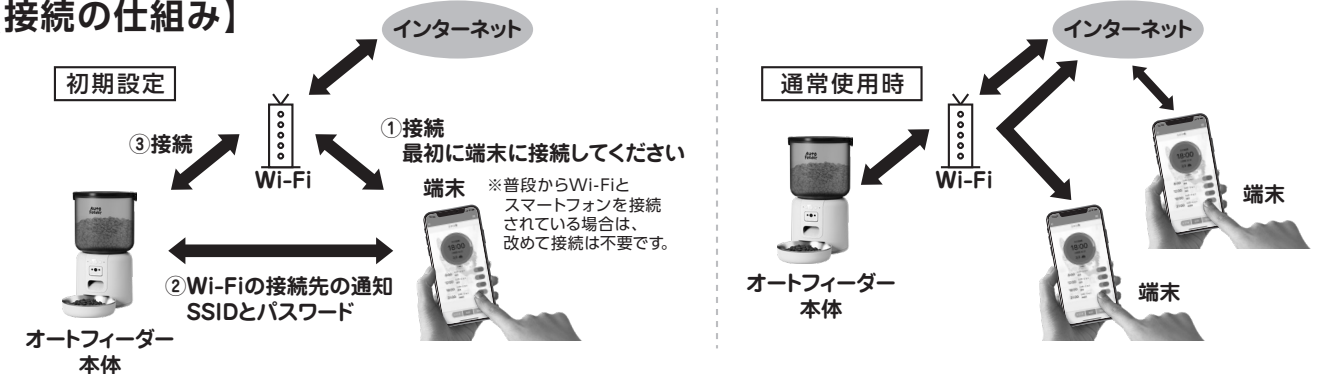
ユーザーネーム・パスワード・メールアドレスを入力し、「決定」ボタンをタップします。

登録完了の画面が出ます。

### ⚠ ご注意

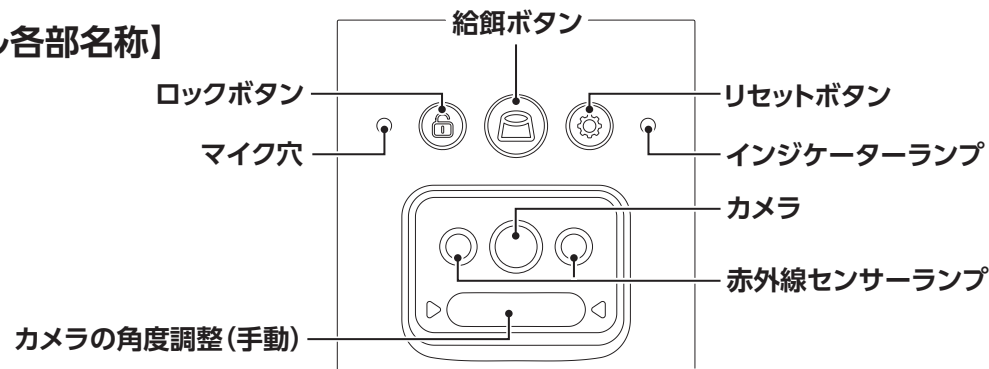
- アプリのアカウントは本体1台に対して1つの設定です。
- 設定したアカウントのユーザーネームとパスワードを、他のスマートフォンでも共有して使用できます。  
※ 最大8台までスマートフォンを同時接続可能です。  
※ 安全のためユーザーネームとパスワードは大切に保管してください。

### 【接続の仕組み】



# 5.操作方法

## 【操作パネル各部名称】



## 【本体インジケータランプ仕様】

給電の種類	ランプの色	点灯速度	内容
電源アダプター	黄	ゆっくり点滅	ネットワークに未接続状態
		速く点滅	ネットワーク(Wi-Fi)検索中
乾電池	白	点灯	接続完了
		消灯	スリープ状態
共通	赤	ゆっくり点滅	乾電池残量低下
		高速点滅	フードつまり、本体故障

※アダプターと乾電池併用の場合は、アダプターが優先となります。

## 【操作ボタンのロック&解除】

- ・ロックボタンを約3秒間押し、もしくは30秒間全く操作が行われなかった場合、自動でロックされ、「ピッ」と音が鳴ります。
- ・ロックボタンを3秒間押しとロックが解除され、「ピッピッ」と音が鳴ります。

## 【アプリ及び給餌設定】

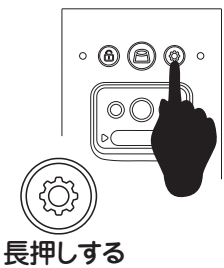
### 1 電源オン

コンセントにアダプターを差すと自動的に電源がオンになり、ランプが点灯します。電池のみで給電された場合は、給餌機能のみ動きます。アプリ操作や設定、カメラ・マイク・スピーカー機能は使えません。普段はアダプターから給電し、停電やアダプターが外れた緊急時には自動で電池から給餌できるように電池もセットしておくことをおすすめします。

※アダプターから電源が失われた場合でも、給餌内容などの設定は保存されています。

### 2 端末(スマートフォン)と本体の接続方法

iOSアプリとAndroidアプリでは多少の違いはありますが、基本的な操作方法や機能は同じです。本書のアプリ画面はiOSアプリを参考にしています。



オートフィーダーの電源がONの状態、インジケータランプが点灯するまでお待ちください。リセットボタンを「ピンポン」と音が鳴るまで長押ししてください。端末のWi-FiをONに設定し、オートフィーダー本体に接続させるWi-Fiと端末を接続してください。



新規登録したユーザーネームとパスワードを入力し、ログインボタンをタップします。



【DA-627 ペット用オートフィーダーカメラ付NEW】を選択してください。

【接続前の準備】をお読みいただき「次へ」をタップしてください。

端末と接続中のWi-Fiのネットワーク名とパスワードを入力してください。

端末に表示されているQRコードを、本体のカメラに向かってかざしてください。本体からピープ音が聞こえたら、上記図の枠部分をタップしてください。

【接続完了】  
100%になると、接続完了です。(接続に数分かかる場合があります。)

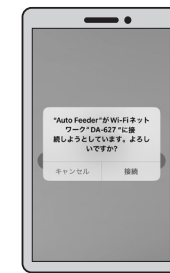
### 【ピープ音が聞こえない場合】



【ピープ音が聞こえない場合】上記図の枠部分をタップしてください。



【手動接続】をタップしてください。



【接続】をタップしてください。



【確定】をタップしてください。



【接続完了】  
100%になると、接続完了です。(接続に数分かかる場合があります。)

### 【ネットワークエラーの場合】



【ネットワークエラーの場合】「OK」をタップしてください。



【本体と端末のWi-Fi設定】  
端末のWi-Fi設定から、「DA-627」を選択してください。接続が完了するまで20秒前後かかる場合があります。



【次へ】をタップしてください。



【接続完了】  
100%になると、接続完了です。(接続に数分かかる場合があります。)

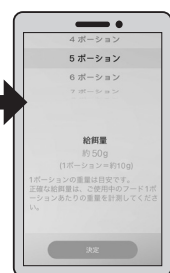
### 3 自動給餌設定



【給餌】ボタンを選択し、+をタップします。



給餌量と給餌時間の設定を行った後、「決定」ボタンをタップします。2~4回目の自動給餌設定も同様に行ってください。



給餌が不要の場合は、給餌設定横のスイッチボタンをタップし、未設定にしてください。給餌設定を長押しすると削除できます。

## 5.操作方法

### 4 自動給餌と同時に録音音声を再生する設定



自動給餌の設定画面の「音声録音」をタップすると、録音リストの選択画面に移動します。

**【録音方法】**  
録音リストの選択画面で、**+**「新規の録音」をタップしてください。

🎤を長押しすると録音が開始されます。最大10秒間録音できます。

🔊をタップすると、録音した音声が再生されます。「再録音」でリトライ、「決定」で録音保存画面に移動します。

音声の保存名を入力し「確定」をタップします。



音声を選択し、右上の「決定」をタップします。  
※音声を選択した際、オートフィーダーから音声再生されます。  
※録音リストには3件まで登録可能です。

「決定」をタップすると、録音音声の設定が完了します。

給餌画面→右上のメニュー画面(☰)の「録音設定」からも録音が可能です。

### 5 手動給餌の方法

[方法1] 本体操作パネルの給餌ボタン(🍲)を1回押すと、1度に約10g分\*のフードが出ます。  
※約1.7kg/4.0Lのドライフードで使用の場合

[方法2] アプリの給餌画面で、左にスワイプすると「長押しで手動給餌」ボタンがあるので、画面が変わるまで長押ししてください。  
※インターネットの環境によって、フードが出るまで時間がかかる可能性があります。



または

画面が変わるまで長押ししてください。

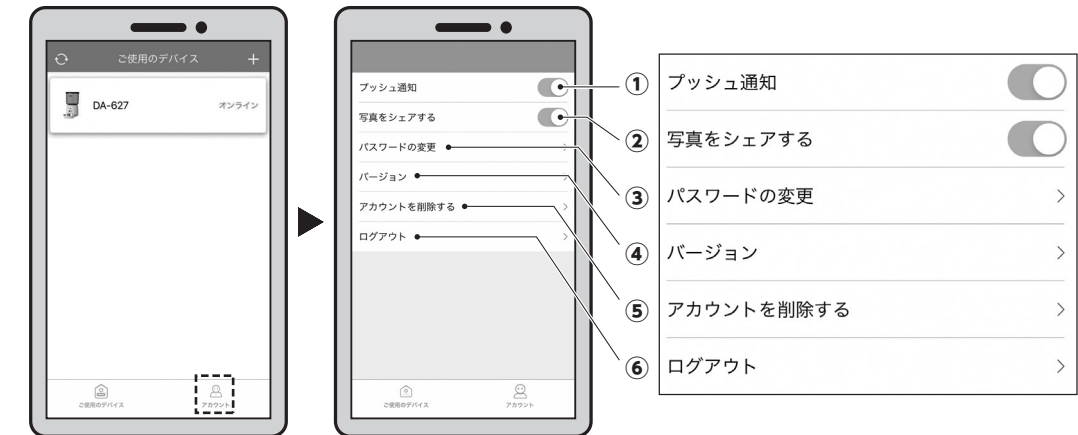
給餌量を変更する場合は、5秒以内に「🍲」マークをタップしてください。給餌量を選択し「決定」をタップしてください。手動給餌を取り消す場合は、5秒以内に右上の「X」マークをタップしてください。

手動給餌が実行されます。

### 6 アプリの機能説明

#### 【デバイス選択画面の「アカウント」について】

デバイス選択画面の「アカウント」をタップすると下記内容の設定などを行うことができます。



- ①「プッシュ通知 ON/OFF」**  
給餌とモーション検知について通知します。  
※スマートフォンの通知設定もご確認ください。
- ②「写真をシェアする ON/OFF」**  
画像や動画、ペットの情報などのシェア機能です。
- ③「パスワードの変更」**  
アカウントのパスワード情報を変更できます。
- ④「バージョン」**  
アプリのバージョンを確認することができます。
- ⑤「アカウントを削除する」**  
アカウントを削除することができます。  
※ペットのデータ、給餌記録などの全ての情報が消えますのでご注意ください。
- ⑥「ログアウト」**  
ログアウトしても、給餌記録などの情報は消えません。再ログインしオートフィーダーと接続すれば情報を確認することが可能です。  
※本体デバイス名を長押しすると、端末と本体の接続を解除することができます。

#### 【アプリ内の「情報」について】

ペット情報の編集、オートフィーダーのご使用期間、給餌量をご確認いただけます。



#### ペット情報の編集方法

カメラマークをタップすると、編集画面に移動します。  
名前・年齢・体重・品種・性格を編集し、「決定」をタップして登録してください。

## 5.操作方法

### 【アプリ内の「ビデオ」について】



- ①「画質切替」  
カメラ解像度を選択できます。  
(HD(高画質)/SD(スタンダード)/スムーズ(低画質))
- ②「写真アルバム」  
カメラ(③)で撮影した画像が保存されます。\*1
- ③「カメラ」  
タップすると写真撮影ができます。  
シャッターの音量は端末の音量設定で変更可能です。
- ④「スピーカー」  
ペットの声や周囲の音を聞くことができます。
- ⑤「マイク」  
端末から飼い主の声でペットに呼びかけることができます。
- ⑥「動画アルバム」  
録画(⑦)で撮影した動画が保存されます。\*1
- ⑦「録画」  
タップで録画を開始します。  
録画を終了する際はもう一度タップしてください。

\*1：自動的に端末にも同じデータが保存されます。アプリのアルバム内でデータを消去しても、端末内のデータは消去されません。  
\* 画面をタップすると、操作メニューの表示/非表示を切り替えられます。

### 【アプリ内の「メニュー」について】 給餌画面→右上メニュー(☰)をタップ



- ①「デバイス設定」  
本体デバイス名の変更・アプリのアップデート・端末と本体の接続解除を行うことができます。
- ②「モーション検知設定」  
ペットの動きを検知し通知します。検知感度は4段階から選ぶことができます。
- ③「録音設定」  
飼い主の音声を録音できます。  
録音した音声は、給餌と同時に再生することができます。(P.7参照)
- ④「ナイトビジョン設定」  
ナイトビジョンの自動切替え、ON/OFF、ON設定時間を選ぶことができます。
- ⑤「モーション検知記録」  
モーション検知の記録を確認できます。
- ⑥「給餌記録」  
給餌時間・給餌量を確認できます。
- ⑦「アプリ設定説明書ダウンロード及びQ&Aへ」  
サイトページから取り扱い説明書を確認できます。
- ⑧「シェア」  
本体のご使用期間、ペットの情報などをSNSなどでシェアできます。
- ⑨「双方向コミュニケーション(会話機能)ON/OFF」  
ONに設定すると、ビデオ画面のスピーカーとマイクを同時に使用できます。

## 6.フードのセット

- 蓋を開けて、フードタンクにドライフードを入れてください。  
\*フードタンクが本体にきっちりめ込まれており、ロックの状態になっているか確認してください。  
(詳細は下記の【フードタンクの取り付け方】をお読みください。)  
\*フードタンクのMIN線以上MAX線以下になるようにフードを入れてください。  
\*MIN線以下になると確実な給餌ができなくなりますのでご注意ください。  
\*フードを入れた後、アプリ画面の「手動給餌」ボタンを押して正常にフードが出る事を確認してください。  
\*フードタンクには、約4L/1.7kgのフードが入りますが、フードの形状や比重によって、多少誤差が出ます。ご了承ください。

### ⚠️ ご注意

- 大粒タイプや粒の一边が5mm以下または15mm以上のドライフードはご使用できません。  
(適合サイズであっても異形もしくは特殊形状のドライフードはフード詰まりの場合があります。様子を見ながらご使用してください。)
- 半生・セミモイストタイプ、また缶詰などウェットタイプのフードはご使用できません。  
(ウェット・半生・セミモイストタイプのフードを入れると本体の故障やフードの腐敗、虫わざの恐れがあります。)
- 屋内専用です。

## 7.お手入れ方法

### 【お手入れの仕方】



感電のおそれがありますので、お手入れの際は電源アダプターをコンセントから抜き、電池も外してから行ってください。

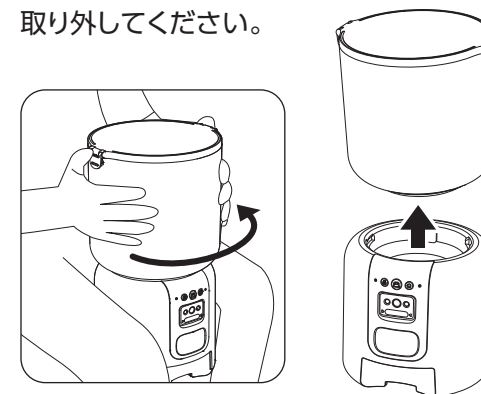
- フードタンク・ステンレス食器・食器トレイ・羽根車は食器用洗剤で洗浄できます。その際に、本体に水がかからないようにご注意ください。水分をよく拭き取り必ず乾燥させてから取り付けてください。
- 本体の汚れは、中性洗剤や水を含ませた布で落とし、乾いた布で拭き取ってください。

ベンジン、アルコール、シンナーはプラスチックを傷めますので使用しないでください。



### 【フードタンクの取り外し方】

図のように本体を固定し、フードタンクを反時計回りに回転させて取り外してください。



### 【フードタンクの取り付け方】

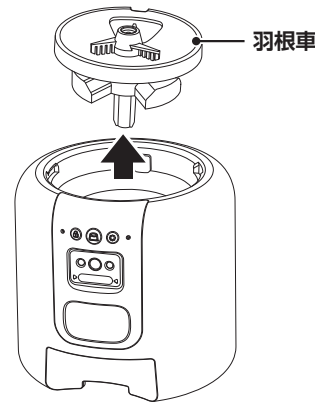
フードタンクの「▼」マークを本体の「☐」マークと合わせて差し込みます。  
図のように本体を固定し、フードタンクを時計回りに回転させて、フードタンクの「▼」マークを本体の「☐」マークと合わせてしっかり取り付けてください。



## 7.お手入れ方法

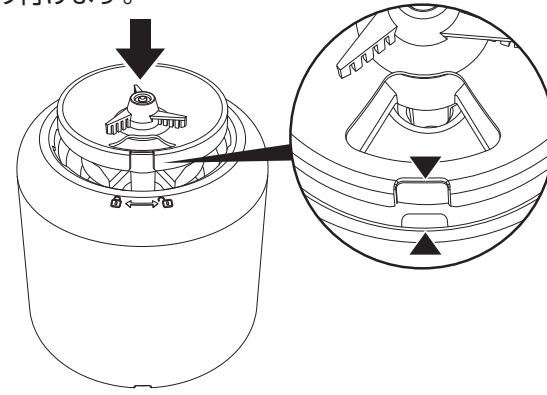
### 【羽根車の取り外し方】

矢印方向に羽根車を取り外します。



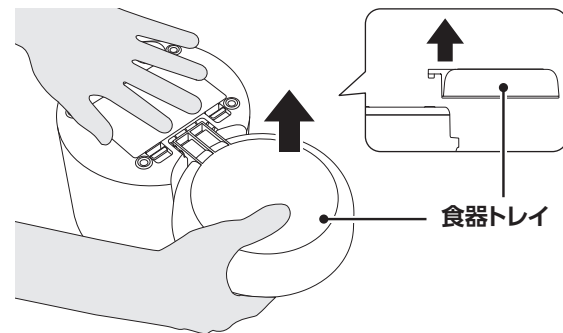
### 【羽根車の取り付け方】

羽根車の凹みを本体の凸部に合わせて取り付けます。



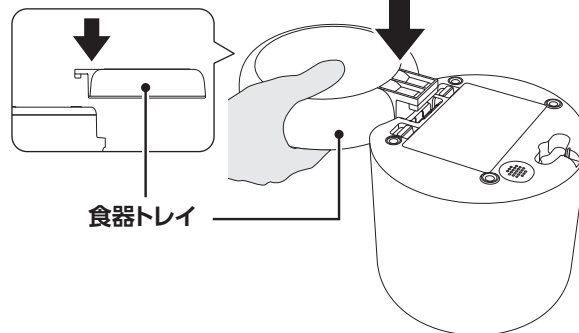
### 【食器トレイの取り外し方】

本体・食器トレイを逆さにし、本体を押さえながら食器トレイをまっすぐ引き上げてください。

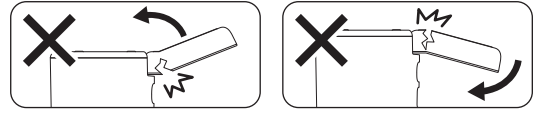


### 【食器トレイの取り付け方】

本体を逆さにし、食器トレイをまっすぐ取り付けてください。

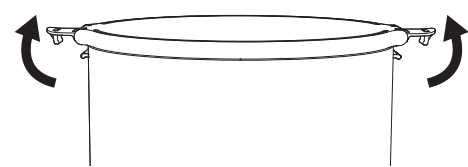


**ご注意** 斜め方向に無理に力を加えると食器トレイが破損する恐れがあります。



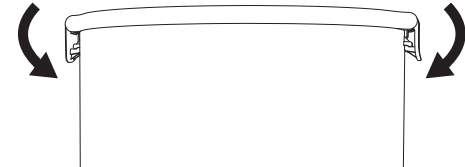
### 【フードタンクの蓋の取り外し方】

両端のツメを押し上げ蓋を取り外してください。



### 【フードタンクの蓋の取り付け方】

両端のツメをカチンとなるまで取り付け蓋をロックしてください。



## 8.困ったときは

現象	対処法
オフラインになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サーバーの状況によってWi-Fiのネットワークが一時的に途切れている状態です。スマートフォン(端末)のアプリ画面内のボタンを押して画面表示を切り替えるか、一旦ログアウトしていただいてから再度ログインしてください。通信が確立するまでしばらくお待ちいただき、時間を置いてから操作してください。※「オフライン」が表示されている間はスマートフォン(端末)での操作が出来なくなります。</li> <li>※モバイルWi-Fiルーターを経由して本体に接続いただいている場合は、外出時にモバイルWi-Fiルーターを持ち出すと本体との無線が切断されてしまいオフライン状態となります。</li> <li>●モバイル回線が途切れていないか、低速になっていないか確認してください。低速になっている場合は、画質切替をスムーズにすると改善することがあります。</li> </ul>
端末と本体が繋がらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Wi-Fi機器との距離を確認してください。P.3の【設置場所について】を確認してください。</li> <li>●P.5~6【端末(スマートフォン)と本体の接続方法】の通り、再度試してください。</li> <li>●無線LAN(Wi-Fi環境)に異常がないかをチェックしてください。</li> <li>●本体の電源が入っているかを確認してください。</li> <li>●基本情報画面の設定からログアウトボタンを押すと、これまでの設定が初期化(リセット)されます。ログアウト後、下記の方法で再ログインをしてください。</li> <li>①【ログイン】ボタンを押します。</li> <li>②アカウント登録情報を入力して【ログイン】ボタンを押します。</li> <li>※下のチェック項目ボタンを押してください。</li> <li>●スマートフォン及びWi-Fi機器の再起動をお試しください。</li> <li>●電子レンジの近くや電波機器や道路に近い場所などではWi-Fiが途切れたり安定しない場合があります。本体の設置場所を変えてお試しください。</li> </ul>
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源アダプターがきちんと差し込まれているか確認してください。</li> </ul>
給餌ボタンを押してもフードが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の「給餌ボタン」もしくはアプリの「長押しで手動給餌」ボタンを押しても、フードが出なかった場合は、詰まったフードを取り除いてください。</li> <li>●大粒タイプや粒の一边が5mm以下または15mm以上のフードはご使用できません。フードのサイズ、形状によってフード詰まりの発生確率は大きく異なります。フード詰まりの頻度が多い場合は別のフードをお試しください。</li> </ul>

## 8.困ったときは

現象	対処法
アプリ接続ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ルーターで2.4GHzまたは5GHzの周波数がオンになっているか確認し、2.4GHzまたは5GHzのWi-Fiに接続してください。</li> <li>●スマートフォンのWi-Fi、およびアプリの「位置情報サービス」が有効になっていることを確認してください。(接続時のみ)</li> <li>・Android：スマートフォン(端末)本体の「設定」から「Auto Feeder」アプリの位置情報の権限を「常に許可」に設定してください。</li> <li>・iOS：「設定」を開き、「Auto Feeder」アプリを「常に許可」にします。</li> <li>●アプリを削除し再インストールします。再インストール後にアプリを開き、「位置情報サービスの使用」で、本アプリでの使用を許可します。</li> </ul>
設定時刻になってもフードが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻があっているか確認してください。</li> <li>●設定時刻と給餌量を確認してください。</li> <li>●フードが羽根車に引っ掛かって、出ない場合があります。その際にはモーターに負荷を掛けないように、モーターが自動的に停止する仕組みになっており、アプリ画面に「本体が正常な状態ではありません。」が表示されます。 ※本体の「給餌ボタン」もしくはアプリの「長押しで手動給餌」ボタンを押しても、フードが出なかった場合は、フードタンクを取り外して、詰まったフードを取り除いてください。</li> <li>●フードのサイズ、形状によってはフード詰まりの発生率は大きく異なります。フード詰まりの頻度が多い場合は別のフードをお試しください。</li> </ul>
設定した量のフードが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設定給餌量を確認してください。</li> <li>●本品は羽根車の間にできた「枙」に入ったフードの「体積」で給餌量を測っていますので、給餌重量にはフードの種類によりばらつきがあります。</li> <li>●単一アルカリ乾電池の残量不足の可能性がありますので、3本すべて新品の電池と交換してください。</li> </ul>

## 9.保証書

### 保証書

本書は本書記載内容により、無償交換を行うことをお約束するものです。取扱説明書に従った正常なご使用にも拘わらず保証期間中に商品が故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず保証書をご提示の上交換をご依頼ください。なお、本品の部品や消耗品は対象外とさせていただきますのでご了承ください。本書は再発行いたしませんので紛失しないよう保管してください。※お買い上げ時のレシートは必ずお取り置きください。

商品名	DA-627 ペット用オートフィーダーカメラ付NEW		
保証期間	お買い上げ日より1年		
お買い上げ日※	年	月	日
お客様	〒	TEL	( )
	ご住所		
	お名前		
販売店名	※住所・店名・電話番号		

販売店様へ お手数ですが※印欄は必ず記入して、お客様へお渡しください。

**ご注意** ※印欄に記入のない場合は無効です。必ず記入の有無をご確認ください。記入がない場合は直ちに販売店にお申し出ください。

### 保証規定

- 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当社が無償交換させていただきます。(生体、その他の損害の補償は致しかねますので、ご承知おきください)
- 保証期間内に故障して無償交換をお受けになる場合は、本書をご提示の上、お買い求めの販売店に交換をご依頼ください。
- 保証期間内であっても、次のような場合には保証対象外となります。
  - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の移動・落下・輸送などによる故障および損傷。
  - 火災・地震・水害・落雷などの天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - 誤った設置や屋外で使用したことによる故障及び損傷。
  - 飼育動物による故障および損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ日や販売店名などの必要な記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - 取扱説明書記載のお手入れをされていない場合。

この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無償交換をお約束するものです。従って保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.